

新たに高度化した高齢者講習の内容

(対象者:認知機能検査で、第1分類又は第2分類とされた者。講習時間:3時間)

- 講習前に平素の運転頻度等について問診票を受講者に記入してもらう

双方向型講義(30分)

高齢運転者の事故実態、安全に運転する方法等について講義・指導

- 受講者に質問したり、発言を促し、理解度を確認しながら進行
- 状況に応じ、申請取消し(自主返納)制度を教示

運転適性検査(30分 ※)

身体機能の状況を自覚させ、運転適性に応じた指導

- 動体視力 ○ 夜間視力 ○ 水平視野 ※現行のCRT(映像刺激への反応検査)の内容は実車で指導。

実車指導(60分)

認知機能検査や運転適性検査等の結果に応じた方式による実車の運転に関する指導

運動機能に関する課題

第1・第2分類の共通課題

- ・方向変換
- ・見通しの悪い交差点

第2分類の選択課題

- ・段差乗り上げ ・S字・クランク
- ・パイロンスラローム

ドラレコ等による受講者の運転状況の記録



認知機能に関する課題

第2分類 ステップアップ方式(到達度段階型)

失敗した課題が矯正されるまで繰り返し実施し、安全な運転を順次指導

成功したら次の課題

- ・ 信号機のある交差点
- ・ 一時停止標識のある交差点
- ・ 進路変更
- ・ カーブ走行

失敗したらやり直し

第1分類 ノンストップ方式(危険度観察型)

- ・ 信号機のある交差点
- ・ 一時停止標識のある交差点
- ・ 進路変更
- ・ カーブ走行

【1回目】
・ 4課題を通して、ひとつおりの運転を観察し、危険性を見極める

失敗した課題・苦手な課題

【2回目】
・ 基本的な運転操作を習得させる
・ 繰り返し実施
・ 改善がみられなければ運転中止を指導

個人指導等(60分)

講習の最後に、受講者個々の能力、特性に応じた個別具体的な安全指導

○ ドラレコ等の映像を活用した個人指導

- ・ 実車指導における危険な運転や個癖について繰り返し指導
- ・ 運転適性検査結果、平素の運転状況も踏まえ、総合的に指導

※ 指導例

- ・ 身体機能の低下を自覚し、これに応じた安全運転に努める
- ・ 悪天候、体調不良時等の運転を控える
- ・ できる限り運転を控え、運転する場合は家族等を同乗させる
- ・ 公共交通機関の利用、高齢者支援制度等の利用

○ 映像教養

- ・ 高齢運転者の事故実態、身体機能の低下が運転に及ぼす影響、安全に運転する方法等に関するDVDを視聴

ドラレコ等の映像を活用した個人指導



※ 現行の75歳以上に対する高齢者講習

講義30分、運転適性検査(動体・夜間視力、水平視野、CRT)60分、実車指導60分(計2時間30分。第1、第2、第3分類いずれも同じ)。

ドラレコ映像等の記録や映像を用いた個人指導は行わない。